Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学文学部藝文学会
Publication year	1954
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.3, (1954. 1) ,p.122- 122
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00030001-0122

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

十月一日、厨川文夫君は英・獨・佛留學のため一年の豫定をもつて渡歐された。

十月十六日—十九日、第五回日本中國學會(於岡山大學)の公開講演會(岡山市公會堂)において奥野信太郎君が「福澤諭吉における漢文學」と題する講演、同研究發表會において佐藤一郎君が「曹禺の戯曲の方法と作品價値をめぐつて」と題する研究發表を行った。

十月十七日、慶應義塾ドイツ文學會昭和二十八年年度總會並に講演會が三田四十七番教室において開催され、金原三郎君が「日本におけるドイツ語の今昔」と題する講演を行った。

十月二十日、西脇順三郎君著「近代の寓話」が創元社より發行された。

十月二十五日、佐藤朔君譯、サルトル・カミュ論争「革命か反抗か」が新潮社より發行された。

十一月三日、第四回西洋古典學會が三田演説館において開催され、松本正夫君が「アリストテレスにおける *epitheta* と *epitheta* について」と題する研究發表を行った。

十一月、二十三日、第十五回フランス文學會(於九州大學)において、白井健三郎君が「サルトルの *image* 論について」、前川

嘉男君が「マルドロオルの歌の文體」と題する研究發表を行った。

十二月上旬、守屋謙二君著「日本の繪畫」(獨文)が西獨ヴィースバーデンのブロックハウス書店より發行された。

編 集 後 記

◎本書も特定の主題に限らぬ研究業績の集積である。

◎本號より消息欄を設けることにした。會員の活動狀況を御連絡頂きたい。

◎「藝文研究」第一、第二號御希望の方は本會事務所に御照會下さい。